

僕が、

もみ

女になって

気づいた事。



23年9月 暑すぎる秋。
僕は、いつも通り女子にイジメられていた。



だから、僕は……



……僕は女子が嫌いだった。



校庭でオムツ履かされて
ダツシユさせられてたハズ。

侍女？
の格好？

？
？
？



ちよつと、お客取ったら
さっさと行きなさい！

通りの向かいのお座敷！
お客を待たせるのは、
一流の花魁だけ。

アンタは、せいぜい夜鷹！
一流だよ！



まごころか？

(なんとなく、怖くてあの青着物の
女の言う通りに来てしまった)





花魁って言うってたけど、
それって売春婦だよな？
夜鷹も同じか？
俺、夜鷹らしいんだけど…。








いや、待って……
早いで……



ひびく!!!



お前童貞だろ?!
いいか? マ○コには
2つ穴があるんだよ!...

お前が押し込もうとしてるのは、尿道!
それはオシッコが出る穴なんだよ!
挿れたいなら、膣にいれろ!
もうちよい下!
挿れるところを間違えるな!



あー、そうそうー！
そこ！
飲み込み早いじゃん！

じゃあ、そのままゆっくり。
ゆっくり動け。
腰をゆっくり前後に。
ガンガン振るなよ？



挿れたいの！！
挿れたいの！！
女武者さんに！！
僕みたいなの！！

ああ
ああ



ガンガン振らずに
ゆっくり振るのが
凄く良いぞ!!

そらうだな。
上手だな。

パン!

パン!



自分でも驚いていた。
自分は、まるで
「童貞を奪う女」みたいじゃないかって。

ほんの1時間前に、校庭を
ダッシュさせられてたハズなのに。

これが……、こっちの方が……、
自然な姿だと思えた。



体験版は、ここまでです。

続きは本編をDLしてお楽しみください。